

# 会 議 議 事 録

		記 録 者	主幹 染谷 優一		
供 覧	部長	課長	補佐	係長	課員
件 名	平成28年度第2回龍ヶ崎市総合教育会議				
日 時	平成28年7月27日（水） 午後1時30分から午後2時55分				
場 所	市役所5階 第1委員会室				
主 催	中山一生市長（事務局：企画課地域戦略グループ）				
出席者	中山市長，平塚教育長，斎藤教育長職務代理者，大野委員，高橋委員 川村副市長，松尾総合政策部長，宮川企画課長，大貫課長補佐，記録者 荒井教育部長，足立教育総務課長，重田教育総務課長補佐，岡野係長 近野係長，黒田生涯学習課長，小貫指導課長，北澤スポーツ推進課長， 大和田給食センター所長，辻井教育センター所長				
欠席者	1人（鈴木教育委員）				
傍 聴	5人				
議 題	1 開 会 2 市長あいさつ 3 議 題 （1）龍ヶ崎市教育大綱について （2）龍ヶ崎市教育振興基本計画（素案）たたき台について （3）龍ヶ崎市の新しい学校づくり審議会について 4 その他 5 閉 会				
情報公開	公 開  部分公開  非 公 開	非公開（一部公開を含む） とする理由  公開が可能となる時期 （可能な範囲で記入）		（龍ヶ崎市情報公開条例9条 号 該当）  年 月 日	

事務局	<p>それでは定刻となりましたので、ただいまから平成28年第2回龍ヶ崎市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>なお、当会議におきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律、第1条の4第6項に原則公開と明記されておりますので、公開で行いたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは開会にあたりまして、中山市長よりご挨拶を申し上げます。</p>
中山市長	<p>改めまして、皆さんこんにちは。今日も蒸し暑い日が続いておりますが、もう7月も月末ということでございますが、まだはっきり梅雨明けがしたかどうか分からないというような状況にもございます。今、気象予報士が龍ヶ崎市に来ていただいておりますけれども、今日はちょっとはっきり聞くのを忘れてきてしまいました。おそらく、今日明日中には明けるんじゃないかなというような報道もございました。そんな蒸し暑い日が続きますが、梅雨が明けると今度は、本格的な夏の暑さということになりますので、この蒸し暑さそして、本格的な暑さを乗り越えて、この夏もそれぞれの委員の皆様のご活躍、ご健勝でのご活躍をお願いを申し上げます。</p> <p>本日は、平成28年度第2回の龍ヶ崎市総合教育会議でございますが、お忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。また、傍聴の皆さんも、傍聴いただき、感謝申し上げますとともに、ご協力をよろしくお願い申し上げます。本日の議題でございますが、次第にありますように三つの案件を設けております。</p> <p>まず、龍ヶ崎市教育大綱についてでございますが、こちらは前回の総合教育会議での協議調整を踏まえ、パブリックコメントを実施し、7月4日の庁議で決定をしたところでございます。この件についてご報告をさせていただきます。</p> <p>2つ目は、龍ヶ崎市教育振興基本計画（素案）たたき台についてでございます。こちらは教育大綱の決定を踏まえ、教育大綱の基本理念の実現に向けて、5つの教育分野ごとに具体的施策や、成果指標などについて素案・たたき台としてまとめたところでございます。例え話としてよく言われますが、計画をつくって絵に描いた餅とならないようにとあります。このため、教育大綱を策定し、今後、龍ヶ崎市の教育施策を展開する際、さらなる充実を図るため、具体的な内容をこの教育振興基本計画の中に盛り込みたいと考えております。また、こちらも例え話としてよく言われますが、計画に魂を吹き込むという言葉もございます。このため、教育大綱と教育振興基本計画の二つで構成される龍ヶ崎市教育プランが龍ヶ崎市の子どもたちを初めとして、龍ヶ崎市民にとってさらなる教育環境の充実を図るための道しるべ、羅針盤となるよう、よりよいものにして参りたいと考えております。教育委員の皆様方からも忌憚のないご意見ご質問などいただきながら、ご協力をよろしくお願い申し上げます。</p> <p>3つ目でございますが、龍ヶ崎市の新しい学校づくり審議会についてでございます。こちらは7月6日に第1回目の審議会が開催されたことに伴い、審議会の概要や主な意見などをご報告をさせていただきます。小中一貫教育を初めとしたさまざまな課題についての共有を深めて参りたいというふうに考えているところです。</p> <p>いずれの議題につきましても、各担当から説明の後、教育委員の皆様方からご意見、ご質問などをいただきたいと考えておりますが、忌憚のないご意見ご質問をいただければと考えております。</p> <p>最後になりますが、龍ヶ崎市の教育環境の充実が図られますよう、皆様と力を合わせていくことを誓い申し上げ、ご協力お願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。</p>

事務局	はい、それではこれから議事に入りたいと思います。 議事進行につきましては主催者でございます中山市長お願いいたします。
中山市長	それでは、着座のままでございますが、進行のお役目を務めさせていただきます。本日の議題であります、先ほども申し上げましたように、会議次第の通り3つの案件がございます。委員の皆様にご意見をいただきながら、ご協議をいただきたいと思いますと思っております。 本日の会議時間でございますが、午後3時の終了を予定しているところでございます。委員の皆様方におかれましては慎重審議の上での会議の円滑な進捗につきまして、協力をお願いを申し上げます。 それでは、議題1の龍ヶ崎市教育大綱についてでございますが、冒頭のあいさつで申し上げた通り、7月4日に庁議決定をした教育大綱について、担当から説明がありますのでお願いいたします。
教育総務課	(資料に基づき説明)
中山市長	議題1の教育大綱について説明がございました。この件につきまして、委員の皆様のご意見ご質問をお願いいたします。 主にパブリックコメントについての対応の資料がメインの説明だったと思いますけれども、これについても結構ですので、何かあればお願いいたします。はい、平塚教育長。
平塚教育長	たくさんのご意見、ご指摘をいただいたわけでございますが、何か一般の市民の方からみると、やっぱり学校がとっても忙しいのかなと先生方の負担が非常に多くなってるのかな、でもこういったものは外さずにやって欲しいというような思っているのが感じるわけございまして、こういった部分を今後教育の中で、もう少しわかりやすく体系化してシステムをきちんと整理をしながら、これからの教育はこんなふうにするんだっていうことを示していかないとなかなか分かりにくくなってしまいう部分もあるのかなというような感想を持ちましたので、今後は教育委員会現場でも、こういった点につきましては、十分に整理をしながら、分かりやすい教育、こういったものもやはり一つの大事な要素なのかなと感じたところです。
中山市長	はい、ありがとうございました。ほかに、はい、じゃあ大野委員。
大野委員	やはり市民の方は教育大綱というものと、教育振興基本計画っていうその区別が分かっていないっていうとちょっと失礼なんですけど、教育大綱を基にして、次に基本計画というのがあるんですよっていうのが、やはり流れ的に私たちは聞いているので分かるのですが、このコメントを見ると、この大綱の中身をもっと具体性を持たせたものが意見として、出てるのかなと思いました。それがやはりコメントを次の教育振興基本計画の方に参考にしている流れっていうのが、ちょっと分かりづらかったんじゃないのかなと思いました。 これからその具体性を持った取組っていうのが、基本計画の中に入ってくるのかなと思いますので、また、具体的なものはその中でいろいろ検討していきたいなと思います。
中山市長	はい、ありがとうございます。また初めて作る大綱ということもあるので、パブリックコメントをされた方の中にもちょっと多少混乱があったのかなというような思いはあります。

	<p>その中で、細かな基本計画の部分については、また基本計画の部分で、教育振興基本計画はパブリックコメントをするんですよね。</p>
教育総務課	<p>はい、教育振興基本計画についてもパブリックコメントを実施する予定でございます。また、その際にいろいろとご意見があると思います。</p>
中山市長	<p>ありがとうございます。他にございますか。よろしいでしょうか。それでは、特にないようでございますので、次へ移らせていただきます。</p> <p>次第の議題2，龍ヶ崎市教育振興基本計画素案たたき台についてでございます。担当から説明をお願いいたします。</p>
教育総務課	<p>(資料に基づき説明)</p>
中山市長	<p>はい。ただいま、龍ヶ崎市教育振興基本計画素案たたき台について、資料を基に説明がありました。ただいまの説明について、委員の皆様からご意見ご質問ございますでしょうか。はい、高橋委員。</p>
高橋委員	<p>ご説明ありがとうございました。どなたにお話をしたらいいかちょっと分からない状態なんですけど、前回もこれを見せていただいた時に私、この「目指す姿」ということと、その中味が動詞で「何々しています」という表現がとても違和感がありますというお話はさせていただいたような気がするんですけど、もし「姿」という言葉を使いたいのであれば、やはり名詞で終えていただきたいなと思います。具体的には、3ページであれば「基礎的、基本的な学習が定着し、命の尊さや人を思いやる心が育まれ、心身とともに健康に成長した龍の子」が目指す姿なのではないかなと思います。「成長しています」と言われると、今既にそうなっているような気がするので、目指す姿を表現するのにはちょっと当たらないのではないかって思います。</p> <p>それで「目指す姿」という言葉を残したいのであれば「成長していくこと」とか名詞で示していただきたいというのがこの間をお願いしたわりには、あまり変わっていなかったというのが正直なところです。</p> <p>あと、細かい話になりますが、1ページの重要業績評価をKPIと表現されてますけど、実際これが何の略になるのか、略語をもし使われるのであれば、一番最初のときには、何の略ですと、その中身、意味だけではなくて、言葉として提示していただきたいということと、また全く話変わりますけれども、すべて平成27年度、平成33年度とありますが、やはりちょっと今、いろいろな情勢も変わりますので、西暦を併記みたいな形で作っておいたほうが後々使いやすいとか見やすいというようなこともちょっと考えていただければいいかなと思いましたので、以上意見です。よろしくをお願いいたします。</p>
中山市長	<p>ただいまいただいたご意見について、何か説明できる経緯等があれば、事務局ありますか。はい、部長お願いします。</p>
教育部長	<p>この「具体的施策の目指す姿」につきましては、この計画の5年先どういう状態になっているのか、ということ各施策ともに表現してるところです。いろんな表現の仕方はあるかと思うんですが、より市民の皆様の説得力のある形で、この計画に盛り込む表現としては、この状態を伝えていったほうが良いのかなということで前回、高橋委員からはご指摘を受けたところなんですけど、そのままの表現とさせていただいたところです。以上です。</p>

教育総務課	<p>K P Iについては、ご指摘のとおり馴染みがないところなので、これも教育振興基本計画で表現する時にわかりやすくしたいと思います。</p> <p>また、「平成」での表記につきましても、色々社会情勢が動いているのもございますので、それにつきましてもこれから5年を見た場合に、ある意味ずれているとかがないようにしたいと思います。</p>
高橋委員	<p>すみません、たびたび申し訳ありません。より具体的に市民の方にわかりやすい形ということでいくのであれば、さっと読んでしまった時にも、例えば、笑顔が溢れていますという表現になっていると、現場を知らない方とか、状況がわからない方はもうすでに笑顔が溢れているならばっていうふうに、今の状態としてとられかねないので、いずれこうなりたいというのがもっと分かるような形に、例えば、それが正しいかどうか分かりませんが、その5年後には笑顔が溢れていますというような、見たところでわかるような形でないと見た方は、今現在こういうふうになっているというふうに思われいかちよっと心配なので、もう少しわかりやすい形はないでしょうかというのが、前回から踏まえた私の意見です。よろしく願いいたします。</p>
中山市長	<p>はい、ありがとうございます。こんなこと言ってしまうとあれですけど、私も実はこの表現には違和感があるというか、けっこう市がつくるプランは、「目指す姿」という書き方をするのは多いんですね。これ何かそういう流れがあるんですかね。参考例があるとか、こういう形を踏襲してきているのは確かに事実で、確かに違和感を感じる時もあるのかなと思います。それは恐らく高橋委員だけじゃなくて、市民の皆さんが見た時も何か同じような違和感を感じる可能性もあるので、もうちょっと何というか、そういう違和感を覚えさせないような形にしていくということは、今後ちょっと検討、努力していく必要があるかなと思いました。そのような形でちょっと工夫して、どのような形ができるかちょっとまた検討してみてください。他にございますか。</p>
平塚教育長	<p>3ページの成果指標の小中学校の教育内容、施設に満足している市民の割合18歳から50歳の方々に、まちづくり市民アンケートで調査した結果だと思っておりますが、正直言って、担当課としては非常に数値が低い。満足している方が40%~46%と、これは実際にはよく分からないっていう方もたくさんいらっしゃるのかなと。実際に、小中学生に子どもさんを通わせる家庭であるならば、この施設の充実というのは随分変わってよくなっているっていうのはわかるかもしれませんが、何かそういった部分があまり関係ない世代というのは失礼ですが、そういった一般の方々に調査した場合につきましては、やはりこういった回答になってしまうのも当然予想できると。そうなればどうなるかというのも、これから教育委員会の方の現場では、こういった施設や内容の周知をもっともっとPR的にやっていく必要があるのかなと思います。</p> <p>その上でのまちづくり市民アンケートということもやっぱり結果としては、受けとめていく必要があるかなと、今の状況ではなかなか判断できないのではないのかなと。</p> <p>それから同じように4ページ、成果指標の授業がよく分かれると答えた児童生徒の割合のベース値が47%、生徒が21%、これはあまりにも数値が低すぎて悲しい数字かなと。よく分かれると答えたのは、質問項目はどんな選択肢があるのか、おそらく「よくわかる」と「わかる」、「よくわからない」、「わからない」、4項目ある調査であるならば、やはり「わかる」まで入れた数値も一応検討してみてもいいかなと。 「よくわかる」というのは、十分理解したうえで発展応用ができる人間が「よくわかる」、「分かる」というのは、</p>

<p>教育総務課</p>	<p>今日の授業で先生が教えたこと、なるほど、そういうことなのか、分かったよってということも含めた人数、これは大きな差があると思うんですね。</p> <p>この辺の調査回答の選択肢をちょっと説明していただいて、その傾向などちょっと説明していただければと思います。以上です。</p> <p>はい、アンケートなんですけど、アンケートの種類が違いますので、大きく差が出てしまうんですけど、最初ご指摘があった3ページのまちづくり市民アンケートなんですけど、先ほど事務局の方で話しましたように、2,000名ということで、市民2,000名ランダムに選んでというか、調査しておりますので、「分からない」という回答がこの中で4割程いました。ということで、こういう数字になっているわけですが、これは文教福祉委員会協議会の中で勉強会を開催しまして、この数値自体がどうだろうということで、議論したんですけど、やはり操作しないで、こういう数字が出たんだしたら、これを追っていくべきだろうというような意見も出ましたので、そういう形にしたいと思います。</p> <p>2点目のご質問に関してなんですけど、この満足しているという割合は、「満足」と「やや満足」というものを足しております。一方、4ページ目の「よく分かる」というのはやはり「よく分かる」、「分かる」というものがあるんですけど、これは「よく分かる」だけです。</p> <p>やはり「よく分かる」と「分かる」も足した方が、この資料の一貫性が増すと思いますので、検討してみたいと思います。</p>
<p>中山市長</p>	<p>はい、じゃあ続けてどうぞ。</p>
<p>教育総務課</p>	<p>参考までに、先ほどの授業が「よく分かる」というところ以外に、「分かる」というものを足した場合ですと、だいたい概算ですが、8割の小学生は「分かる」という回答結果です。そのなかで特に「よく分かる」というのが47.4%、生徒ですと、概ねの7割「分かる」というふうに答えております。そのなかで特に「よく分かる」というふうに答えた生徒は、21.6%という結果です。こちらにつきましても、先ほど教育総務課長から話がありましたように、再度検討したいと思います。</p>
<p>中山市長</p>	<p>はい、ただいま説明がありましたが、よろしいでしょうか。最初の方の満足している市民の割合というのは、これは、18歳から50歳までを抽出した数ですね。これが多分、年齢層がもっと広がるともっと低くなる。結局、教育に関心の低い人たちの答えが含まれる数が多ければ多いほど低くなるという傾向がありますので、これはアンケートを取る時のちょっと問題点ではあるのかなと思うんですけど、やはりアンケートの趣旨からすると、きちっと数字は修正をせずに出していく方が正しいのかなという思いもございしますが、もっと何か実際の数値がもっとこういうアンケート結果に出るような努力というのも、今後必要になってくるのかなとも思っております。</p>
<p>教育総務課</p>	<p>補足説明でございます。先ほどありました小中学校の教育内容、「施設に満足している」市民の割合18歳から50歳が41.4%という結果でありまして、これ全部の年齢を積み上げた時には、31.3%まで下がってしまいます。その主な要因は、50歳を超えた方のいわゆる年齢ごとのクロス集計で「分からない」という答えてる方が多くなっていることによって下がるというのがございます。そのなかで、特に義務教育に関連する方、50歳で切った時には、こういう数値が出ているところでもございます。そうは言っても、この年齢の中でもやっぱり「分からない」って答えている年齢層もあつたりとか、地域特性などもござ</p>

<p>中山市長</p>	<p>いますので、そういったクロス集計などもちょっと今後分析しながら、考えたいと思います。</p> <p>はい。ありがとうございます。「分からない」って書く人がけっこう多いということですので、そういうことも、注記しておくのもいいのかもしれないですね。それを抜いた時のパーセントというの、市民の皆さんというところまではなかなか難しいかもしれませんが、我々はやっぱり知っておく必要があるのかな、それなりに高い数値であるということは、受けとめておくべきなんだろうなと思っております。なので、そういうことも市民にもどのように伝えるかちょっと工夫してみてください。お願いいたします。他にございますでしょうか。はい、教育長。</p>
<p>平塚教育長</p>	<p>「徳」の部分の5ページ、施策の内容の③番、使い慣れている人だったら分かるんですが、この「シティズンシップ教育の推進」、これは一般の方に見せた場合に、この定義っていうのが、いまいち理解できないんじゃないかなと、やはりその注釈的なものもどこかに表記したのがよろしいかなというふうに思っています。</p>
<p>中山市長</p>	<p>はい。これは私も、これからの教育で大切な要素の一つだと思いますので、ちょっと私も説明しろと言われると、うまく説明できないような気がしますので、ぜひ市民の皆さんにどういうことなのかっていうのが、はっきりわかっていたらいいような注釈をしていただければと思います。</p>
<p>齋藤教育長 職務代理者</p>	<p>今回、施策の具体的なものですね、それと、この大綱ですね、大綱の中に出てくる、それぞれの項目に少し照らしながらですね、私は読み合わせました。その中で、先ほど市民の声もあったとおり、より具体的なものがこの施策の中に入ってくれば、分かりやすくなっていくし、また施策も進めやすくなる。ある面では、今進めている施策だけでいいのか、新たな施策も模索しなきゃならないことも当然ながら出てくるだろうと、または改善していくという、まあそんなことを十分考えた上での施策をもっともっと吟味していく必要があるのかなっていう思いは、全体的にこう見たんですね。自分としてどうかっていうと、なかなか自分の施策としては持ちづらいこともあるんですけど、見ているうちに、ちょっと気がついたっていうか、自分がちょっと分からない部分ですね、基本方針の方をちょっと見てもらえますか。大綱の基本方針で、4ページですね、まず基本方針1の義務教育のところ、これを見ていった時に、例えば上から5つ目のポチ、幼稚園、保育園、さらには、小学校及び中学校と書いてあるんですが、幼稚園、保育園に対するものがちゃんと施策中に何かあるのかなっていう思いが一つ。</p> <p>あと、その下の障がいのある児童生徒の何とあって、特別支援教育の推進があります。これの施策はどこに含まれているのか。その下の選挙権年齢の満18歳以上の引き上げと、わざわざ書いてあるわけですね。いわゆる、これと整合性のある施策っていうのはどこにあるのかなっていうところが、私にはちょっと見えにくかったんですね。</p> <p>あと5ページ、基本方針2の方で、この2つ目、人格形成において重要な時期である幼児期に着目してっていう、これを大事にしたわけですね。こちら辺に対する施策っていうのは何だったんだろう、どれなのかなっていう思いです。</p> <p>あと次のページ、6ページの4つ目、自分の技術や知識を生かしてっていうところに、ここの次に、社会や地域へ貢献するなど、生きがいをづくりや市民相互の交流を促進します、ここに社会や地域への貢献するなどっていうことが書いて</p>

<p>中山市長</p> <p>教育総務課</p>	<p>あるんですが、これが施策とどういう整合性があるのかなというところがちょっと私自身見えにくかったので、教えていただければというふうに思います。</p> <p>はい、今の御質問に対して、いかがでしょうか。</p> <p>はい。それでは教育大綱の4ページの義務教育の三番目と今回の教育振興基本計画素案たたき台の関連性についてであります。</p> <p>まず、幼稚園・保育園・小学校・中学校・高校・大学との連携というところで、教育振興基本計画で特に意識しているという部分が、8ページの具体的施策3を意識しているところでございます。この中の地域との連携というところで、②のところが高専との連携、③流通経済大学との連携、④教育の日推進事業というのが、こちらが幼稚園・保育園も含めて一体的に推進している事業でございます。その中で先ほどの三番目は特に、この具体的施策3を意識しているところでございます。</p> <p>次に特別支援教育につきましては、教育振興基本計画素案たたき台の中では、主に11ページのところのインクルーシブ教育の推進というところに、特にこちらの方を意識しているところでございます。</p> <p>最後の18歳以上への引き下げを踏まえて、主権者教育につきましては、前のページに戻ってしまいますが、7ページの「シティズンシップ教育の推進」というところで、その中に市民性教育であったりとか、主権者教育、そういったものを意識した作りとしているところでございます。</p> <p>次に教育大綱の次の子どもの健全育成で幼児期に着目しというところの幼児教育というのが、教育振興基本計画の中では14ページの幼児教育の充実を図りますというのが、特に大綱を意識したこの具体的施策というふうに考えているところでもございます。</p> <p>最後に、生涯学習の推進の自分の技術や知識を生かして社会への貢献というのが、教育振興基本計画で言いますと18ページ、多様な学習機会の充実を図りますという中で、施策の内容①人材バンクから始まりますが、こういった自分たちが学んだもの、そういったものが、また新たに他の方へまた教えていたりとか、地域への貢献、そういったものを意識した作りというふうになっております。</p>
<p>中山市長</p>	<p>はい。今の説明に対して何かございますでしょうか。これに関しては、斎藤委員が感じられたように、やはり大綱が完成したあかつきには、これと見比べてやはり教育基本計画も見られるということでもありますので、関連付けはちょっと分かりやすくする必要はあるのかもしれないですね。その辺もちょっと工夫していただければと思います。</p> <p>あとは昨日の悲惨な事件もありましたので、障がい者に関してはやっぱり人権の方でも、結びつけていくことなんかも検討してもらえればと、今提案させていただきます。今の件に関してはよろしいでしょうか。</p> <p>そのような方向で関連付けをしやすいようにしていくということで、はい、ほかにございますでしょうか。はい、大野委員お願いします。</p>
<p>大野委員</p>	<p>1ページの成果指標の根拠ということで、④の学校評価というのがあると思うんですけど、ちょっと確認なんですけど、学校評価の仕方というか、どなたが、アンケート的にやったものに対して、評価していたのか、それとも実績をもとにしてなのか、ちょっと確認したいんですけど。</p>



教育総務課	はい、この学校評価につきましては、おおむねアンケートというのは、学校ごとに行っております。
大野委員	<p>学校ごとに微妙に異なる内容なんですけど、特色を持たせたアンケートを学校に置いて行い、学校評議員さんにみてもらったりして、独自に行っているものです。ある意味、統一された質問・アンケートというよりは、学校に特色を持たせた、投げかけみたいなものがあるという中での回答になるかと思うんですけど、ちょっと気になったのが、6ページの小中一貫に関しては、本当にたくさんのお意見があるかと思えます。その中のほんの一部の中の、部活動というのも入ってるかと思うんですけど、この中で部活動が充実している、参加しているというので学校評価の中で、生徒が82%、保護者が9割近く満足しているような何となく回答だと思います。しかし、現状を見て、本当にその部活動が充実している学校ばかりではないのかなと思ひまして、特色を持ったやり方だっているんだとしたら、ある学校ではこれだけ満足しているのかなとか思ったり、逆に7ページのやっぱりここでも部活動の活性化というのがあるんですけど、指標の方で、3番目の自慢できるものがあると答えたのが、生徒の方では64%に減ってしまっている。</p> <p>こっちは調査というか、これもアンケートみたいなものだと思ひしていますが、指標にしては差があるとちょっと感じたもので、小中一貫を考えていく上で、やはりその部活動、実際にこれだけ満足してるといっているのではないんじゃないかなと、ちょっと私感じたもので、あえてちょっと聞きました。</p>
教育総務課	はい。一番最初の御質問にお答えします。アンケートの種類が違うため、対象が違います。学校評価、多分これは部活動で活躍している生徒、保護者を対象にしたアンケートだと思います。一方、学校生活の方は、小学4年生から6年生、あと中学1年生から3年生まで、4年生から6年生は部活動はないんですが、中学校は1年生から3年生のすべてに聞いておりますので、やはりわからないですとか入っていないとか、そういうものも母数に含まれて、分母に入っておりますので、こういう表になっております。ただ、定点観測といいますが、同じアンケートを同じ年数ずっと続けておりますので、これからもそういう指標をとって、その統計をとって見るにはふさわしいものかなというふうに考えております。最初のアンケートと終わりの、ゴールのアンケートが違ってしまったんでは意味がないと思うんですけど、種類が違うアンケート、対象者が違うアンケートといううえではどうしても致し方ないところがございます。
大野委員	種類が違うのは分かっていたんですけど、何となくいろんな気持ちがあるんだなっていうのがこれでちょっと分かったというか、そういったものを参考に、大きな意味での小中一貫ってということの中の一つでちょっと話してみたいんですけど、推進していく中で本当の小規模同士をくっつけるような小中一貫じゃなくて、龍ヶ崎ならではの小中一貫ってものをちょっと検討していくべきなのかなと思ひます。
教育総務課	<p>付け加えますと、大野委員がおっしゃったように大きな意味でということ、私どもも部活動に満足しているという割合、80%を見て安堵してるわけではなくて、大きな意味で考えれば、ある中学校では部活動がどんどん少なくなっていて、やりたくてもやれないという子どもが多くなっています。</p> <p>そういう観点から、新しい学校づくり審議会でも特に部活動についてもっと深く調査をしてくれないだろうかというような御意見もあったので、大野委員がおっしゃった意味合いだと思います。その辺を今、調査をかけて深く調</p>

<p>平塚教育長</p>	<p>べているところでございますので、もう少しお時間をいただければと思います。</p> <p>6ページの「部活動が充実している、部活動に参加していると答えた生徒、保護者の割合」は、なかなか解釈が難しい項目かなと思います。部活は参加しているけど、充実はしていないという年代、間違いないと思うんですね、思春期でございますし。いろいろな部分で参加度充実というのは一概にうまく答えられない子どももいるのかなと思います。</p> <p>それから、健やかな体の部分で部活動の充実、じゃあ部活動の本来の目的は、7ページの自主性や社会性とかそういった意味合いも多分出てきてしまいますので、一概に体だけの問題ではないと。</p> <p>では、身体、体力づくりをしますかって言った場合には、もう部活に入らないでスポーツクラブに入っている子どもの数も相当いるんじゃないかと。野球にしてもサッカーにしても、それから体操にしても。</p> <p>そうなりますと、この龍ヶ崎の小中学生の実態を知る意味で、部活も一つかもしれないかもしれませんが、学校の決められた枠の部活以外でも、週に決められた数運動しているお子さんは一体どのぐらいいるのか、そしてどういう気持ちでやっているのか。いろんな部分で調査要素は入れられると思うんですが、そういった視点の何か調査も必要ではないかというふうに感じております。</p>
<p>中山市長</p>	<p>はい、ありがとうございます。先ほどの教育総務課長の話とも関連すると思いますけれども、やはり実態に合った調査をして欲しいというような要望もあったということですので、実際部活がなくて指定校変更するというのも結構いらっしゃるというような事実もありますので、その辺はやはり何か実態が見てる側にも伝わるような、そういうような資料があると今後の参考になっていくのかなと思います。今後のあり方を探っていく上で非常に重要な資料になっていくのかなと思いますので、その辺はまたさらに検討して、中身を充実させていただければなと思います。今の教育長のお言葉にもありましたので、よろしく願いいたします。ほかにございますでしょうか。</p>
<p>斎藤教育長 職務代理者</p>	<p>4番の文化芸術の振興の中で、具体的施策1が多様な文化財の保存と活用を推進する、2が文化芸術に親しむ機会の充実を図る、3が郷土学習を推進しますという、この順番はこれでいいんでしょうかねっていう、ちょっとした疑問です。なんとなく文化財の保存と活用が頭にきていて、教育大綱っていうことからしたときには、どうなのかなっていうことを単純にちょっと疑問に思いました。</p>
<p>生涯学習課</p>	<p>順番については、特に検討していたところはなかったものですから、こちら、文化芸術に親しむ機会の充実という面については、例えば文化会館ですとか、歴史民俗資料館等が指定管理をしておりますして、間接的な形になっているところもございますので、担当の生涯学習課が直接的に施策を行っている文化財等の保存と活用を一番に回したところですけども、こだわりがあるというところではないものですから、検討させていただければと思います。</p>
<p>教育総務課</p>	<p>はい、こちらにつきましては先ほどありましたように、教育大綱の並びなどを意識した番号ではないのが正直なところなので、見比べた時の分かりやすさというところで、この番号を2番を1番に繰り上げたりとかの検討をさせていただきたいと思います。</p>
<p>中山市長</p>	<p>はい、よろしいでしょうか。ほかにございますか。それでは、ほかになけれ</p>

教育総務課	<p>ば次に進めさせていただきます。今の教育振興基本計画に戻りますけれども、今日もたくさんの御意見をいただきました。</p> <p>まだまだ委員の皆さんもいろいろ御意見をまた思いついた時にでも届けていただければと思うんですけれども、これらの意見を踏まえながら、今後、教育振興基本計画の作成を進めていくということによろしいでしょうか。</p>
中山市長	<p>はい。</p> <p>それでは、そのように進めさせていただいた上で、次回の会議で、また、教育振興基本計画案として御提示をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは次に移ります。議題の3、龍ヶ崎市の新しい学校づくり審議会についてでございます。担当から説明をお願いいたします。</p>
教育総務課	<p>(資料に基づき説明)</p>
中山市長	<p>はい。ただいま、龍ヶ崎市の新しい学校づくり審議会について、その説明がありました。これについては新しく立ち上がった審議会ということもありまして、今後も継続的にこの総合教育会議に報告をしていただきたいと思います。龍ヶ崎の小中一貫教育等の推進に向けても理解を深める良い会議になっていくのではないかなと思っております。これについて委員の皆様御意見、御質問等、お願いいたします。</p> <p>また、こちらの方で部活動の話が出てきたりしましたので、やっぱり中学生、高校生にとって部活動というのはものすごく学校生活の中で大切な部分であろうと思っておりますので、この辺もやはり、しっかりとこの委員会でも考えていかないといけないのかなというふうに思っております。何かございますか。はい、教育長。</p>
平塚教育長	<p>第1回目の審議会ではいろんな委員の方から、やっぱり先ほどの説明がありましたように、御指摘いただいたり、また審議するにはあまりにも資料が足りない、こんな状況であるというのは十分私達も事務局で参加してわかった次第でございます。ですから、今の龍ヶ崎は一体どういうふうな状況なのかということ、少し立ち止まって明らかにする必要があるだろうと。学校完全5日制が始まって、今年で15年目になるかと思っております。大阪の池田小学校事件から16年、この15年間にはいろいろな変遷がございまして、少なからず、学校の規模が大きくなったり、小さくなったり、統廃合を繰り返したりってことで、どの地区でも子どもの変容というのが、知らず知らずにあるのではないかと。今現在、今度教育委員会でも各課をお願いして、できるだけ歴年の経年データを持って、子どもとか学校の状況の変化、これを基礎データとして、そして、この新しい学校づくり審議会の方にそのデータを提供して、それで、第三者的な見方でここがちょっと問題ではないのかなっていうものが明らかになれば、良いかなと、それを出発点にして第2回目の審議会を迎えていきたいというふうに考えておりますので、今8月中に、そういった資料収集を各課で指示して作業に入るといったこととさせていただきます。</p>
中山市長	<p>はい、ありがとうございます。今平塚教育長からもありましたけれども、これに関してでも結構ですので、何か御意見があれば。小中一貫ありきではなくて、やはり先ほど委員さんの意見にもありましたけども、龍ヶ崎市の教育、この龍ヶ崎市にとってどのような形で子どもたちの教育をしていくのが1番最適</p>

	<p>かということ考えていく中で、子どもたちの知育、徳育、体育の発達にとって何が1番相応しいのかについてを考えていくことが大切だと思いますし、その中で、おのずと小中一貫という選択肢も浮かび上がってくる可能性もあるわけでもありますけれども、そういう視点での進め方が大切なのかなというふうに思っております。</p> <p>そういう意味でも、先ほどの部活動も含めて、子どもたちの学校生活ということもどうあるべきかというの、やはり大事な要素になってくるかなと思います。そういうことで、今、平塚教育長さんからも、次回の会議についての心構えも伺ったところでございますけれども、今後のこの会議がどのように進展していくか、私達も注目していかなければならないと思いますし、楽しみにしているところでもありますので、よろしくお願いを申し上げたいと思います。これについてはよろしいでしょうか。</p> <p>はい、それでは他にないようですので、この件に関しましてはここまでとさせていただきます。</p> <p>若干時間もあります、次第に、その他ございますが、その他で何か委員の皆さんからございますか。</p>
事務局	<p>先ほど、成果指標関係につきまして、いろいろ問題がある議論がありますけれども、まちづくり市民アンケート、これについてはクロス集計をしております、これが来月にはまとまる予定であります。</p> <p>そうしたことから年代ですとか、そのお住まいの地域、そういったものについても詳細なデータがありますので、そういったものも活用して、なるべくこの成果指標だけではやはり分かりづらいものですから、そういうものも活用していくような工夫をしていければと、これは戦略プランも同じなんですけれども、していきたいと思っております。</p> <p>次回の予定でございますが、今回は10月26日水曜日、午後1時半を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。</p>
中山市長	<p>はい、その他よろしいでしょうか。それでは、次第のその他で終了いたしました。皆さんの慎重審議の上での議事進行の御協力に感謝を申し上げまして、私の議事進行のお役目を終わりとさせていただきます。御協力ありがとうございました。</p>